



## 「普通ってどんな感じ」

相談に来られる方はよく

「普通に楽しく…」 「普通に勉強が…」 「毎日を普通に…」  
と話されます。



普通って何？といつも考えてしまいます。人はみんな違っているのになぜ「普通」という言葉にこだわるのでしょうか？

私は時々「普通に…」とお話される方を前に「普通」って何？と考えます。あたかも「普通」が免罪符であるかのように、「普通である」ことができる生活の中にある困難さを感じなくていいように思っているのかなと思います。『自分は普通でないから他の普通の人に比べて辛い。だから普通になりたい。』と悩んでいるのではないのでしょうか。しかし人はそれぞれに人と違ってきます。性別、体格、性格、家族環境、友人関係等など、まったく同じ人はいないはずですが、だからこそ一つの目安として「平均」が設けられました。しかしいつの間にかその「平均」が良し悪しの目安になったり、それに達していないと「普通じゃない」と判断されたりするようになり、人は「普通」にこだわるようになっていったのではないのでしょうか？

私は「人がその人らしく過ごしたり考えたりできることを普通と言う」と考えています。では「その人らしく」とはどのようなことでしょうか。自分の中で、できる事とできない事を知り、できる事を素直に喜び自信につなげていくこと、できない事を「普通ではない」と悩まずに、できるようになるためにはどうすればいいのかを考え、実行することが「その人らしい生き方＝その人らしさ」につながるのではと考えています。（そうしたからと言って必ずしもできるようにはならないのですが…）

普通でありたいと悩むより、自分らしさをよりしっかりと身につけるために考え、行動する人になれるといいなと思います。



3月のスクールライフアドバイザー来校日（相談時間 10:00～16:45）

7日（月） 11日（金） 18日（金） 25日（金）

電話での相談 

電話による相談もできます。教育相談室直通電話（「青年期の探究」の裏表紙にあります）を利用してください。